

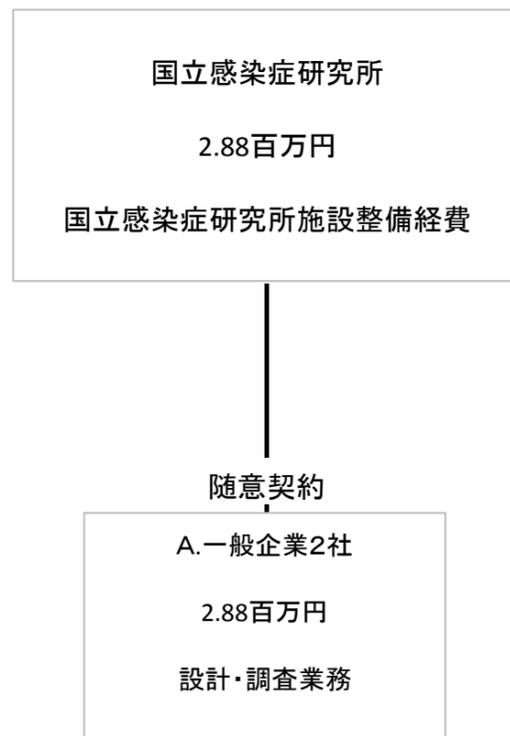
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所施設整備費		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成25年度		担当課室	総務部会計課		金山 和弘		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により擁壁の一部に亀裂等の破損被害が生じたため破損個所の改修を行うことにより、隣接する家屋・私立大学への安全確保を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により被害を受けた擁壁の改修工事の実施。 1. 既設擁壁の解体・撤去 2. 新規擁壁の構築							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	53	/		
		補正予算	/	/	/	/		
		繰越し等	/	/	-50	50	/	
		計	/	/	3	50	-	
	執行額	/	/	3	/	/		
	執行率(%)	/	/	100	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	当該事業の成果は、被害を受けた施設の早急な改修による施設運営上の安全確保であり、定量的な指標の設定は困難		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	東日本大震災の被害を受けた擁壁の復旧事業であるため定量的な指標の設定は困難		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	-	-	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	0	0	-				
	計	0	0					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被害を受けた擁壁の安全を図ることは、当所のみならず隣接する家屋及び私立大学への安全性の確保のため重要度が高く優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行に必要な使途に限定し執行している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	適切な事業計画を立案し、競争契約を実施することにより、合理的且つ安価な発注を行うよう努める。また近隣の住民、大学等の安全を考慮し、協議、調整を適正に行い、速やかに工事を進める事が必要である。				
外部有識者の所見					
外部有識者点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年		平成24年 新24-054	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	改修工事 設計・積算業務	2.88			
計		2.88	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ラドバーン企画設計	改修工事詳細設計業務	0.99	随意契約	—
2	(株)ラドバーン企画設計	工事調査検討概略設計業務	0.94	随意契約	—
3	(株)土質基礎コンサルタンツ	工事調査検討概略設計にかかる地質調査業務	0.94	随意契約	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					